

Q.(数 2B 基礎問題精講 P35 演習問題 18)

例題の注で実数解をもつ時は重解も含む為、不等号に等号がつくと書いてあるのですが、演習問題も実数解の条件なのに解答の不等号には等号がつかない理由が分かりません。

A.

演習 18 は a の範囲を求めているため、全く別の話です。

例えば等号をつけてしまうと、 $a = -2$ のときにも題意を満たすことになりますが、 $a = -2$ のとき D_1, D_2, D_3 はそれぞれ $+, 0, -$ となり、2 式で実数解をもつことになり矛盾します。

不等号がつくかどうかは、必ず例を考えて満たすかどうかの確認を行うようにしましょう。